



岡山大学自然生命科学研究支援センター  
動物資源部門鹿田施設  
**Newsletter**

**2012**  
**Dec. 11**

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp  
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

## 高度技術研修を開催しました。

10月23日(火)～26日(金)、動物資源部門鹿田施設において、国立大学法人動物実験施設協議会主催、平成24年度実験動物関係教職員高度技術研修が開催され、全国から11名の受講生が参加しました。

今回の研修では「ブタを用いた動物実験研究に拘わる知識と技術の習得～飼養保管・麻酔管理及び術後ケア～」と題して、研究支援業務に様々応用できるカリキュラムが組まれ、受講生の皆さんは4日間、熱心に取り組みました。また、この研修では教員だけでなく、技術職員も多数講師を務め、支援実務を行う技術者の視点からの講義・実習が行われました。



来年度は熊本大学において、マウス生殖工学技術をテーマに研修が行われる予定です。対象者は”国立大学法人及び大学共同利用機関法人のうち、技術職員および非常勤職員を対象とする。”とされており、参加資格は動物実験施設の職員に限定されていません。また、参加費についても主催校負担となりますので、技術を習得したいと考えておられる技術職員の方はご一考されてみてはいかがでしょうか。

## 🐭 中型動物ウェットラボ技術支援業務のご紹介。



動物資源部門では本年度より、中型動物を用いた実験への技術支援を開始しました。ブタを始めとした中型動物を用いた実験について、不動化・麻酔導入、麻酔管理、術後ケア等をトータルでサポートします。

中型動物を使ってみたいが、労力負担等の理由から本格的に実験を進められなかった研究者の皆様、是非、本サービスをご活用ください。詳しい支援内容、利用料金等は動物資源部門矢田（内線：鹿田 7445）までお問い合わせください。



## 🐭 血球計数、各種血液生化学検査サービスのご紹介。



動物資源部門では、血球計数、各種血液検査サービスを行っています。検体をお持ち頂ければ職員が測定を行い、メールにて即日<sup>(※)</sup>結果をご連絡致します。利用料金も市価より安価に設定しておりますので、外注依頼をされていらっしゃる方は是非ご検討ください。多数のご利用をお待ちいたしております。お問い合わせは担当藤井（内線：鹿田 7445）まで。

※ 検体数、試薬在庫の有無、検体の持込時間によります。予め担当職員にご相談ください。

血球計数利用料金

利用料	測定項目
300円／依頼 + 100円／測定件数	イヌ・ネコ：RBC、WBC、HGB、HCT、PLT + LY、MO、EO、GR その他の動物：RBC、WBC、HGB、HCT、PLT

生化学利用料金

	測定項目	用意する検体	利用料金
一般化学	グルコース (Glu)	血清・血しょう	¥280
	尿酸 (UA)	血清・血しょう	¥290
	総コレステロール (T-Cho)	血清・血しょう	¥450
	トリグリセリド (TG)	血清・血しょう	¥400
	尿素窒素 (BUN)	血清・血しょう	¥290
	総ビリルビン (T-Bil)	血清・血しょう	¥290
	カルシウム (Ca)	血清・血しょう	¥290
	総タンパク (TP)	血清・血しょう	¥290
	アルブミン (Alb)	血清・血しょう	¥290
	無機リン (IP)	血清・血しょう	¥300
	マグネシウム (Mg)	血清・血しょう	¥290
	HDL-コレステロール (HDL-C)	血清・血しょう	¥1,400
	血中アンモニア (NH3)	血しょう	¥600
クレアチニン (Cre)	血清・血しょう	¥290	
酵素	GOT(AST)	血清・血しょう	¥400
	GPT(ALT)	血清・血しょう	¥400
	LDH	血清・血しょう	¥290
	CPK	血清・血しょう	¥290
	GGT(γ-GTP)	血清・血しょう	¥500
	アミラーゼ (Amy)	血清・血しょう	¥500
	ロイシンアミノペプチダーゼ (LAP)	血清・血しょう	¥500
	アルカリフォスファターゼ (ALP)	血清・血しょう	¥290
	クレアチンキナーゼ (CKMB)	血清・血しょう	¥600
	コリンエステラーゼ (CHE)	血清・血しょう	¥600
その他	Na- K-Cl	全血・血清・血しょう	¥900
	ヘモグロビン (Hb)	全血	¥280
	C反応性タンパク質 (CRP)	血清	¥1,400
	フルクトサミン (FRA)	血清・血しょう	¥500

### 動物資源部門からのお願い

最近、部門内の定められた動線を違反し、コンベンショナル区域での作業後バリア区域の作業を行う、ブタを用いた実験の後、マウス区域に入るなどする事例が散見されます。感染事故等、他の利用者の迷惑になる可能性がありますので、絶対におやめ下さい。

また、マウスの管理が適切になされておらず、1ケージ中に規定の匹数（5匹まで/1ケージ）以上の動物を収容している方が見受けられます。実験動物の福祉に配慮した動物管理の徹底をお願いします。

違反者には、繁殖・実験の停止、静脈認証停止等の厳しい措置を取らせて頂きます。